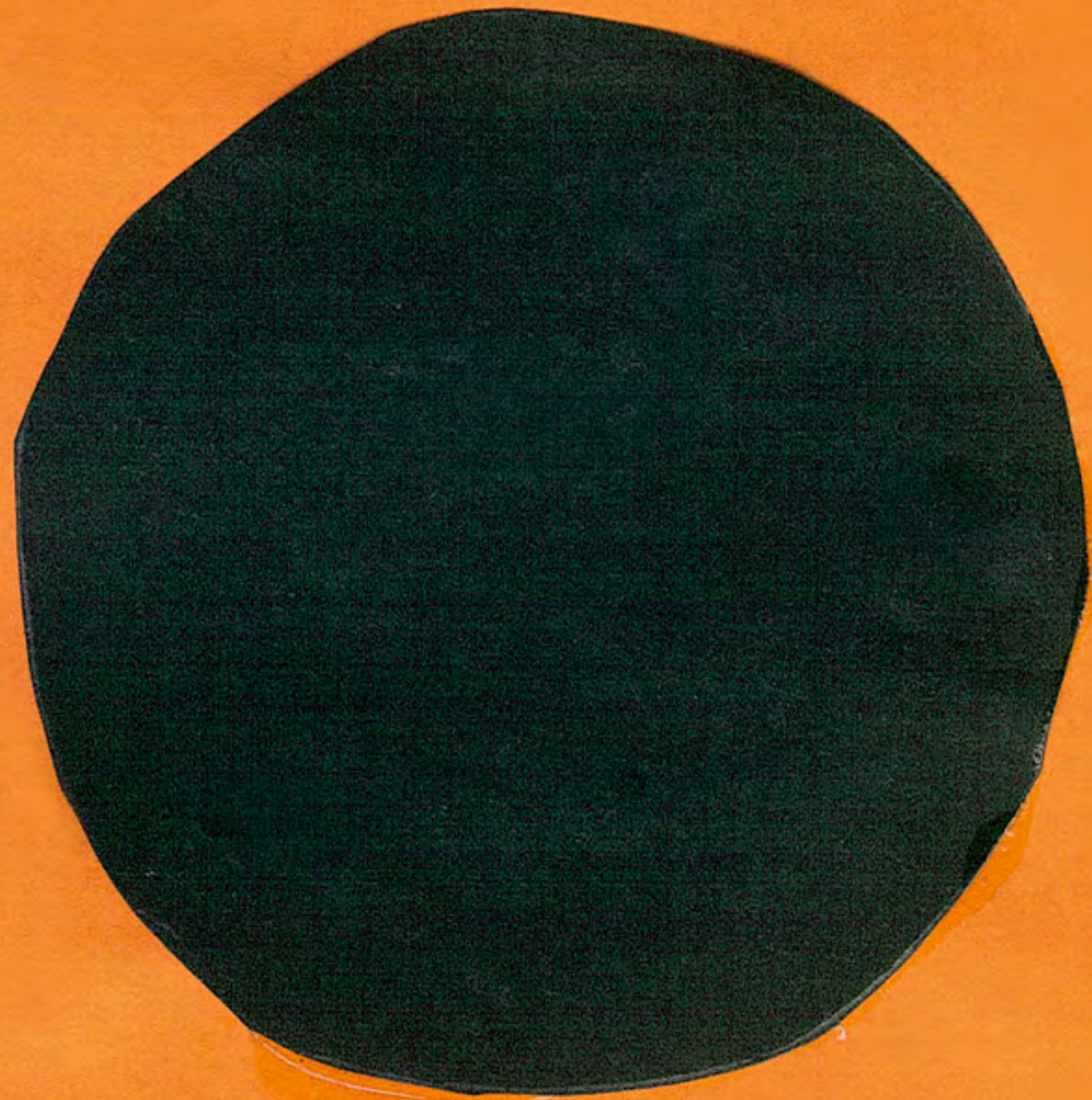


これが〜んた？



こたえはゆ〜って！



ごたえは〜

あれ?
お母さんが
ら...



「地球」と思ったら...



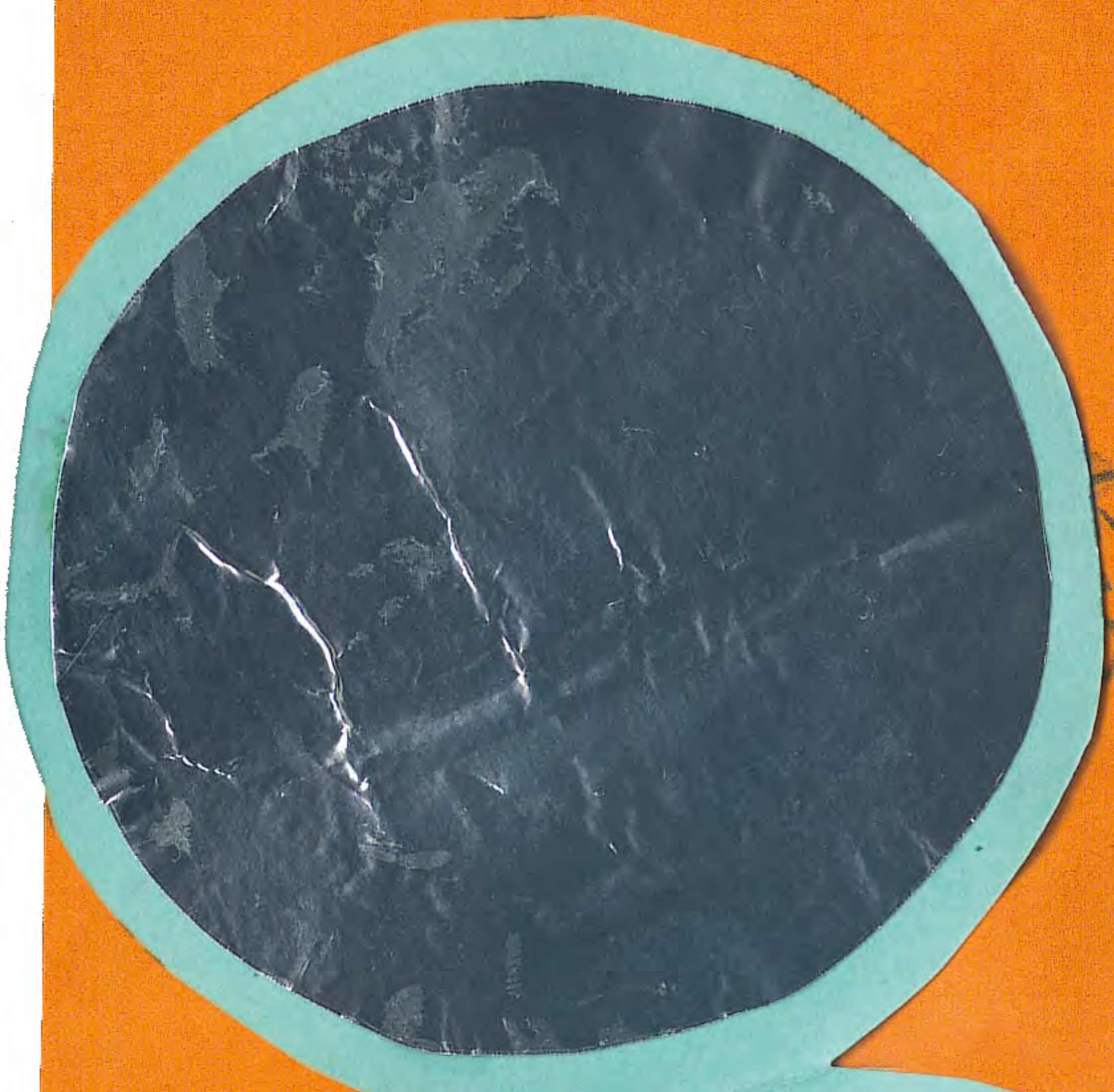
ゆる〜ね!

あんなにいい火がもえている!
ごめんねあれ〜

わたしを変えてくれたに第へ

樹には少し申しわけないと思っていたよ。最初は木對が注まれたばかりのときに、いじわるばかりしてしまっていた。樹はまだ赤ちゃんだから分からないと思うけどあやまっておくよ。「ごめんね。」そして、もう一つ伝えたい事があるんだ。それは「ありがとう」だよ。わたしは、とにかく下に兄弟が「できる事か」とてもいやだった。お母さん、お父さん。みんな木對にとられてしまうのではと思ったから...。だから、最初はおえて名前をよばず「赤ちゃん」と呼んだりして。でもみんな自分をかえてくれたのが木對だった。言葉が「うじない」のに、なせかいっしょにいるうちに自分が「変わっていった。変わった自分木對をだっこすると泣きだしたりして、少しずつなついてくれるような気がした。だから、思うんだ。木對が生まれてこなかったらこんな自分になれなかった、いなかったかも。だからお礼を言う。「ありがとう。」そして、これからはよろしくね。

ごたえは〜...



あれ?
お母さんが
...



「地球」と書

あれ? こんなか
わいい子が写っ
る! だ〜れだ!?

ゆる〜ね!

あじない!! 火がもえている!
くもくもあれれい!!

わたしを変えてくれたに第へ

樹には少し申しわけないと思っていたよ。最初は木樹が生まれたばかりのときに、いじわるはかりししまっていた。樹はまだ赤ちゃんにから分からないと思うけどあやまっておくよ。「ごめんね。」そして、もう一つ伝えたい事があるんだ。それは「ありがとう」だよ。わたしは、とにかく下に兄弟が「できる事か」とてもいやだった。お母さん、お父さん。みんな樹に「しられちゃうのでは」と思ったから。だから、最初にあえて名前をよばず「赤ちゃん」と呼んだりして。でもみんな自分をかえてくれたのが樹だった。言葉が「うしろ」なのに、なぜかいっしょにいるうちに自分が「変わっていった。変わった自分に樹をだっこすると泣きだしたりして、少しずつなついてくれるような気がした。だから、思うんだ。樹が生まれてこなかったらこんな自分になれなかった、いなかったかも。だからお礼を言う。「ありがとう。」そして、これからもよろしくね。